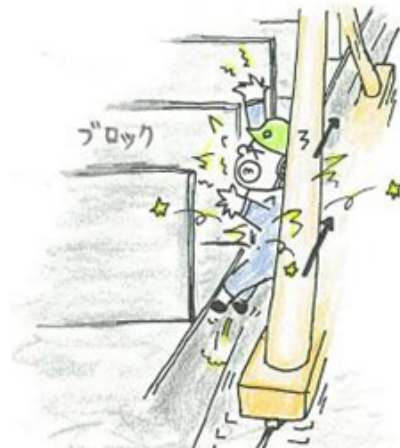


② 挟まれ
巻き込まれ

移動してきたクレーンの脚部と ブロックに挟まれた

発生状況



ブロック組立作業中、走行して
きた橋形クレーンの脚部とブ
ロックの間に挟まれた

原因

- ✓ クレーン脚部とブロックの間隔が狭かった（約140mm）
- ✓ 挟まれる恐れのある範囲に立ち入った
- ✓ 危険箇所の注意喚起（表示等）が不十分だった



防止対策

- ✓ クレーンとの間隔を十分に確保する。床面にライン表示をする。警報装置を設置する
- ✓ クレーン付近の危険箇所には入らないよう教育を徹底する
- ✓ ブロック建造時の定盤計画を適正なものに見直す。立入禁止等の注意喚起を表示する



POINT!

クレーン走行域の危険箇所への立ち入りは
厳禁！



DATA

発生年月日
2003.07.22

発生場所

内業工場
定盤上

作業名・作業内容

ブロック組立
作業

死傷病名

外傷性ショック

職種

社/協

年齢

経歴年数

取付職

協力員

51才

10年

026



クレーン走行域への進入防止柵



クレーンの接触停止装置



クレーンの接触停止装置